

やまなしスタイル 第3回放送のまとめ

【放送日時】 平成30年6月20日(水) 13:30～

【キーワード】 「地域おこし協力隊」

地域おこし協力隊とは、地方自治体が地域外の人材を募集し、1～3年程度の任期中にその地域に住みながら、農林水産業の応援などの地域協力活動を行ってもらう制度です。

【出演者】 梅澤 寛人さん(身延町地域おこし協力隊)

赤松 智志さん(ふじよしだ定住促進センター)

【パーソナリティ】 神部 冬馬さん、山田 千尋さん

梅澤 寛人さんの考える「山梨の魅力」

人々とのつながりや温かみ

- ・友人の紹介で山梨に興味をもち、有楽町にある「やまなし暮らし支援センター」を訪れた。そこで募集していた身延町の「地域おこし協力隊」への参加を決め、山梨に移住した。
- ・現在は地域おこし協力隊の任期中であり、身延町の名産品である「あけぼの大豆」の栽培、商品の企画、販売、PRなどを行っている。「ソイコティー」という大豆を使ったお茶を開発し、人気を得ている。
- ・任期終了後も身延町に残って活動していく予定。
- ・他の若者も、地域おこし協力隊を、地方への移住のひとつの方法として考えてみてはどうか。



赤松 智志さんの考える「山梨の魅力」

都心からの距離の近さ、アクセスの良さ

新事業を始めるにあたって、競合他社の数が程よく、挑戦しがいのある土地であること

- ・大学の時に所属していたゼミが、富士吉田市と協力して地域活性化事業を行っていた。卒業後、富士吉田市の地域おこし協力隊として、空き家の再生活動に関わるようになった。
- ・任期終了後も山梨に残って活動を続け、空き家を利用したゲストハウス「SARUYA」を開業。
- ・現在は経営を別の人に任せ、(一財)ふじよしだ定住促進センターのスタッフとして働いている。また、高校生を対象とした地域プログラム開発を行うNPO法人「かえる舎」の事業に携わっている。
- ・移住者自身が山梨での暮らしを楽しむことが、地域の活性化につながっていくと思う。

第4回放送

【放送日時】 平成30年7月18日(水) 13:30頃～

【キーワード】 山梨と自然

【出演者】 三井 恒夫さん(ペンション「ヒュッテ・グーテライゼ」オーナー)

持留・ヨハナ・エリザベートさん(モチドメデザイン事務所)